

番組

解説 森本哲郎

和布刈

仕舞 龍神山本博通

地謡 山下あさの  
前田和子  
今村宮子  
多久島法子

鍋八撥

狂言

鍋売り 野村萬齋

鞆鼓売り 野村裕基  
目代 高野和憲

笛 杉市和

後見 飯月崎晴夫  
田豪

〈休憩〉

能

鞍馬天狗

花見の稚児 北九州市民参加  
牛若丸 平尾冬青  
前山伏 森本哲郎  
後天狗

僧 原大

大鼓 白坂信行 太鼓 田中達  
小鼓 曾和鼓堂 笛 杉市和

能力 野村太一郎  
木葉天狗 飯田豪

後見 山本博通  
多久島法子  
武富康之

地謡 小倉要二郎 久保誠二郎  
井内政徳 多久島利之  
今村嘉太郎 松浦信一郎  
山口剛一郎

【あらすじ】

仕舞 和布刈 (めかり)

和布刈神社の神主が和布(ワカメ)を刈る神事の時刻になると龍神が現れ、海の道を開き、神事の力添えをする。

狂言 鍋八撥 (なべやつぱち)

新しく市場を開設するに際し、目代(代官)は、「早々に到着して第一番目の店に着いた者は、市の代表者と認め免税にする」という意味の触書を出す。それを読んでまず鞆鼓売りが現れ、夜明けまでひと寝入りしようとする。次に鍋売りが現れ、先を越されたと悔しがるが、先着を装って、鞆鼓売りのそばに寝る。やがて目が覚めた鞆鼓売りと鍋売りの言い争いになる。目代が仲裁に入るが、各々自分の商売物について古詩や古歌まで引いて由緒自慢をし譲らない。目代が勝負をつけよと命ずるが…さて結末は？

能 鞍馬天狗 (くらまてんぐ)

鞍馬山の僧が大勢の子供を連れて花見に出かける。花見で小舞などに興じていると、その席に山伏が来て座り込むので、僧や子供たちは立ち去ってしまう。一人居残った子供が山伏に親しげに言葉をかける。その子供は源氏の遺児牛若丸(後の義経)であった。平家の子供達にのけ者にされていると同情した山伏は、牛若丸と山々の桜を見て歩くが、実は自分はこの山の大山狗であると明かし、再会を約束し、谷へと姿を消す。(中入)  
牛若が戦装束に着替え、薙刀を手にし待っていると、大山狗が現れる。大山狗は漢の張良が黄石公に兵法を授かった物語を語り、牛若丸に兵法と平家打倒の力を授け、将来の守護を約束する。  
今回は花見の稚児役に北九州の子供たちが登場します。